



作文コンクールで優秀賞を受賞！ ～中福良小学校6年 湯田 善智君～

第70回社会を明るくする運動作文コンクールにて、中福良小学校6年の湯田善智君が優秀賞を受賞しました。

「祖父の手」と題した作文は、農業の傍ら保護司をしている祖父について記しています。湯田君は「保護司について知ったきっかけは祖父です。一つ一つ積み重ねながら、人と会話する姿を尊敬しています」と、はにかみながら語りました。



▲賞状を受け取る湯田善智君(中央)と受賞を喜ぶ祖父の松村孝徳さん(左)

鹿 児島をまるごと味わう給食 ～学校給食週間を実施しました～

1月25日～29日に、全国学校給食週間に合わせて「鹿児島をまるごと味わう学校給食」を実施しました。学校給食週間は、戦争で途絶えていた学校給食を再開したことを記念し制定された1月24日の給食記念日の前後の週に行っています。今年は、鹿児島の郷土料理の鶏飯や豚骨煮、郷土菓子のかんかん(知覧茶かるかん)のほか、県産の和牛やかんぱち、県内や南九州市内でとれた野菜や米などの食材をたくさん使った給食を提供しました。



▲鶏飯と知覧茶かるかんを食べる知覧小学校4年生の児童

農業で働く家族を応援!! ～穎娃幼稚園の園児、図画コンクールで受賞～

穎娃幼稚園の園児6人全員が「全国子ども図画コンクール」に応募し、九州地区優秀賞と特別賞を受賞しました。この図画コンクールは小学生以下の児童・園児を対象に、作品テーマは「農業で働く家族」で、がんばって働く家族を作品にしています。園児6人の作品は、家族みんなで田植えをしている様子・トラクターで畑を耕す祖父などを描き、農業の様子をうまく表現していました。



▲図画コンクールで受賞した作品を披露する穎娃幼稚園の園児

楽しい、おいしいお茶!! ～穎娃幼稚園でお茶の楽しみ方講座～

1月13日、穎娃幼稚園で園児と保護者を対象にお茶の楽しみ方教室が開催されました。お茶の入れ方の基本講座のあと、各家庭で使っている急須やティーポットを使って、保護者と園児一緒になってお茶の入れ方に挑戦していました。また、緑茶の炭酸割りなどいつもとは違うお茶の飲み方なども楽しみました。保護者や園児たちから綺麗な緑色だとか、おいしいなどの意見が聞かれました。



▲園児たちには地域の特産品のお茶をもっと好きになってもらいたいです!



豊 かな村づくりで九州1位を受賞! ～高田村づくり委員会～

川辺町の高田村づくり委員会が「豊かなむらづくり全国表彰事業」の農林水産大臣賞を受賞しました。12月25日、高田村づくり委員会の方々が、市長を表敬訪問し、受賞報告をしました。代表の内匠秋夫さんは「九州1位という名誉ある賞をいただき身の引き締まる思いです。高齢化・担い手不足など課題は残るが、これからも地域の皆さんと手を取り合って取り組んでいきたい」と話しました。



▲豊かなむらづくり表彰を受賞した高田村づくり委員会の方々

無 病息災とコロナ収束を願う ～川辺町高田地区の鬼火焚き～

1月10日、川辺町高田地区で鬼火焚きが行われました。竹で組まれた高さ約20メートルの大きなやぐらが用意され、大勢の方々が見守る中、丑年生まれの子どもから大人がやぐらに火を付け、火柱が噴き上がり一年の無病息災とコロナ収束を祈りました。住民の方々は、防火や魔よけの御利益を得ようとササをあぶって持ち帰りました。今年は花火も打ち上げられ冬空を彩っていました。



▲火柱が噴き出るように勢いよく燃えるやぐら

わ くわく人権ルーム ～ちらん中央こども園で開催～

1月14日、ちらん中央こども園で「くわく人権ルーム」が開催されました。これは、人権に対する意識を就学前から持ってもらうと、鹿児島県司法務局知覧支局と知覧人権擁護委員協議会が実施したもので、園児はDVDを鑑賞したあと、人権擁護委員の話の聞いたり、人KENまもる君やあゆみちゃんと触れ合うなど楽しい時間を過ごし、みんなと仲良くすることを約束しました。



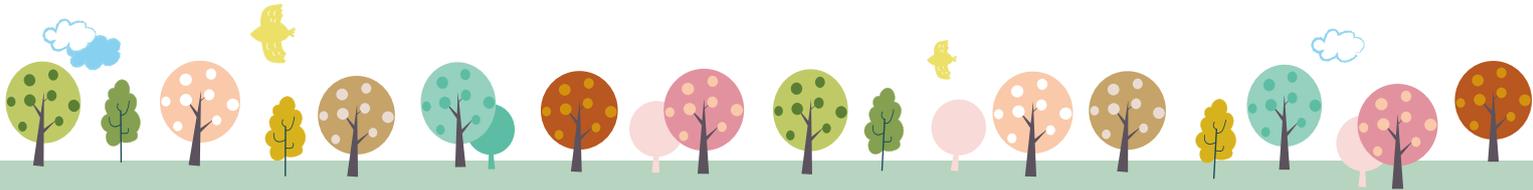
▲みんなと仲良くすることの大事さを学ぶ園児ら

子 どもたちに笑顔届けたい ～商工会青年部が園児へプレゼント～

12月24日、25日に南九州市商工会青年部川辺支部が川辺町内の保育園・幼稚園を訪問し、お菓子と花火のプレゼントを贈りました。新型コロナウイルスの影響でさまざまなイベントが中止となる中、地域の子どもたちに笑顔届けたいとの思いから実施されました。子どもたちはサンタクロースとお茶むらいのサプライズ登場にびっくり!でしたが、プレゼントを渡すと満面の笑顔に変わりました。



▲プレゼントを受け取り笑顔でポーズをとる園児ら



川 辺仏壇の伝統を未来へ継承！ ～伝統工芸士が経済産業省の表彰を受ける～

伝統的工芸品産業功労者等として、川辺仏壇伝統工芸士の大坂一馬さんが「経済産業局長賞」、吉留俊三さんが「九州経済産業局長賞」を受賞。長年に渡り日本の伝統的工芸品産業への功績がたたえられました。2人は「今後もこれまでの経験や知識を後世に伝え、川辺仏壇の発展に尽力したい」と抱負を語りました。また、有田康博さんと滝山輝純さんが新たに伝統工芸士に認定されました。今後の川辺仏壇製造技術の伝承者として期待されています。



▲川辺仏壇伝統工芸士の滝山輝純さん、吉留俊三さん、大坂一馬さん、有田康博さん（左から）

地 元の企業を知ろう！ ～第5回南九州市企業合同説明会～

1月26日から2月4日、市内3高校の約450人を対象に企業合同説明会が開催されました。この説明会は、地元高校生が地元企業を知り、企業が自社の魅力を伝える機会として、市とハローワーク加世田・指宿との共催で開催されてきましたが、今回はコロナ禍のため、対面式ではなく各学校で動画視聴による分散形式で行われました。説明会に参加した生徒の将来の選択肢に地元就職が増えることにより、地元定着の促進が期待されます。



▲企業紹介の動画を熱心に視聴する薩南工業高校の情報技術科1年生

地 域に活力を生む担い手！ ～新たな地域おこし協力隊が着任～

1月12日、南九州市の新たな地域おこし協力隊として青木健太郎さんに辞令を交付しました。

新たに着任した青木さんは、市観光協会の専任スタッフとして地域協力活動に取り組みます。青木さんは、「南九州市を身近に感じてもらえる人を増やすために、まずは自分が楽しみ、さまざまな人に再現していただく取り組みを仕掛けていきたい」と意気込みを語りました。



▲今回着任した青木健太郎さん（中央）

豊 作を願って種まき！ ～葉たばこのは種式～

1月11日には顛娃町別府の葉たばこ育苗センター、22日には加世田万世の葉たばこ育苗センターにおいて葉たばこの種まきが行われました。

令和2年産葉たばこは、天候不良などにより生産目標を下回りましたが、参加者は令和3年産が豊作となるよう祈願しながら種をまきました。本市の令和3年産の葉たばこは、生産者22戸、面積約60ha栽培をします。



▲顛娃・知覧地域の生産者などによる種まきの様子